

平和運動センター情報

第532号 2015年10月31日
富山県平和運動センター発行
TEL 076-431-8756

県平和運動センターは30日、富山市の自治労とやま会館で総会を開き、安全保障関連法が成立した9月19日にちなみ、来夏の参院選まで毎月19日に抗議行動を展開していく方針を確認した。

安保関連法反対
毎月19日に抗議
1/31 北日本

、名護市辺野古での新基地建設反対などに取り組む1年間の活動方針を決め、総会宣言を探査した。役員改選で山崎議長と副議長全12人を再任した。任期は2年。

日本
北富山県平和運動センター
（山崎義良）は9日、米軍を



代行らが祝辞を述べた。山崎議長を再任した。任期は2年。安全保障関連法への反対などを盛り込んだ総会宣言を採択した。辺野古新基地建設工事再開に対する抗議声明も出した。

「総がかり行動実行委員会」は29日、参院議員会館で記者会見を実行しました。200万人を目指した「戦争法の廃止を求める統一署名」を11月3日から開始することなど、今後の取り組みに

ついで発表しました。統一署名は、同実行委員会をはじめ、首都圏反原発連合、SEA、SDS（シールズ）など29の団体、グループが共同で呼びかけています。内閣総理大臣、衆参両院の議長あての

請願署名で、①戦争のすみやかな廃止②憲主義の原則を堅持し、憲法の条を守り、いかすこと」を求めています。署名用紙は実行委員会のホームページなどに掲載され予定です。

戦争法の廃止を求める毎月19日の行動を全国的な取り組みにしようと改めて呼びかけました。

会見では、高田健氏（解説で憲法の条文をな！実行委員会）が、福山真幼氏（戦争させた）と心配しました。

戦争法廃止へ2000万署名

ない1000人委員会)、小田川義和氏(薬法共同センター)の3氏が発言しました。

戦争させない・9条壊すな！
憲法改悪行動実行委員会



富山で護憲大会 来年、20年ぶり